花北青雲PTA会報

第106号

発行：令和５年３月　花北青雲高等学校ＰＴＡ広報委員会

〒028-3172　岩手県花巻市石鳥谷町北寺林第11地割1825番１
電話（0198)45-3731(事)・3732(職)　FAX（0198)45-3745(事)・3746(職)
URL：http://www2.iwate-ed.jp/hkb-h/

「アイノカタチ」

PTA会長　小菅孝広

日頃よりPTA活動への理解と参画を頂いております、保護者の皆様には心より感謝申し上げます。また、佐々木校長をはじめ教職員の皆様にはコロナ禍という特殊な状況の中、学校運営を行って頂き、感謝申し上げます。同窓会・地域の皆様におかれましても、常に温かく見守って頂き、多くのご厚情に感謝申し上げます。この花北青雲高校での3年間のご指導のおかげで子供達は皆大きく成長いたしました。ありがとうございました。

卒業生の皆さん、卒業おめでとう。高校3年間はどのような時間だったでしょうか？有意義な時を過ごせましたか？楽しい日々だけでなく、辛く、逃げ出したくなるような時もあったのではないでしょうか。それでも様々なことを経て卒業を迎えたことは、これからの人生にきっと活かされることでしょう。

そして保護者の皆様、お弁当づくりや送迎など、3年間本当にお疲れさまでした。一緒に過ごした日々で成長する子供達に頼もしさを感じ、時には寂しさも感じたのではなかったのではないかと思います。ご苦労様でした。

この子供達は、花北青雲高校に入学したときから、コロナ禍という特殊な状況下で学校生活を過ごしてきました。我慢や理不尽なことなどを乗り越えてきたと、私はそう思っています。

様々なアイノカタチに包まれて、過ごしてきた日々を胸に刻み、大きく羽ばたいてほしいと願っています。

最後に、皆さまの心情を表して結びとしたいと思います。

「あのね大好きだよ。あなたが心の中で広がっていくたび、愛が溢れ涙こぼれるんだ。」

がんばれ！

おらほのわらしぇんど！

未来を生き抜く力

校長　佐々木伸良

日頃より、本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

田畑に残る雪も解け始め、ハクチョウは北の大地へと戻る準備をしております。外はまだまだ冷たい風が吹いておりますが、窓から入る日差しは暖かく、確実に春の訪れが近いことを教えてくれます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、さまざまな制約が続いた1年でしたが、コロナに対する恐怖心というよりもコロナへの対応策をどう進めるべきかに苦心した1年でした。青雲高校の生徒たちは、コロナ禍で制限が続く中でも、日常の学業や部活動に、生徒会活動や行事に、それぞれ工夫を凝らして、日々取り組んでくれました。その取り組む姿勢は、自分の成長の土台となっていることに間違いはありません。特に3年生の3年間は、コロナ一色の3年間でした。仙台育英高校野球部の監督さんが述べたように「高校時代の3年間は若者にとって密な時間。」と言えます。生徒にとっては、自分の人生の土台となる3年間だったと思います。コロナ禍のために、部活動や行事が思うようにできない。しかし誰も責められない理不尽な世界だと感じたことでしょう。その理不尽な世界と感じた中でも、新しいやりがいや楽しみを見つけたのもこの3年間でした。

3年生の保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。卒業の日を迎えられたことを教職員一同、心よりお慶び申し上げます。

今も続くコロナ禍において、保護者の皆様にもご負担とご迷惑をおかけしましたが、ご理解と温かいご支援を賜りましたことに改めて感謝を申し上げます。

さて、本校の教育目標である『「キャリアデザイン」自分らしい生き方の設計』には、自分の生き方を自らの力で切り拓き、人生をデザインする力を身につけてほしい、という願いが込められています。

一人ひとりが持つ力や可能性を十分に伸ばし、発揮していくためには、生活に必要な知識や技術に加え、物事を判断し正しく行動する力、目標を成し遂げようと努力する力、自分の前に立ちふさがる困難の壁を乗り越えようとする推進力が必要となります。

科学技術は時代とともに発達し、私たちの生活を大いに豊かなものにしてくれました。小さな島国の日本は、優れた先端技術を生かし、経済成長を遂げたのは、もはや昔のこととなり、少子高齢化や地方の人口減少は、大きな問題となっています。

世界に目を向ければ、格差社会や環境破壊そして紛争の絶えない世界になってしまいました。

解決の糸口が見えない世の中ですが、過去を振り返ると、いつの時代も閃光を放つのは、若者たちの声でした。

混迷続く未来に新しい価値観を生み出し、正しい道を切り拓いていくのは、その未来を生き抜く生徒たちです。10年後、20年後、30年後に花巻で、岩手で、日本で、そして世界で活躍するのは、本校の生徒たちです。

本校の生徒一人ひとりの成長を支援し、社会に貢献できる人材として、社会に送り出すために、引き続き保護者の皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

高P連報告

第71回全国高等学校PTA連合会大会参加報告

PTA会長　小菅　孝広

会員の皆様には、日頃よりPTA活動へのご理解とご協力を頂きまして、感謝申し上げます。

さて、8月26・27日に石川県金沢市で開催された第71回全国高等学校PTA連合会大会石川大会へ柳原先生と参加し、学びの機会を頂きました。コロナ禍の影響で中止が続き久しぶりの対面開催となり、非常に多くの参加者となっていました。

今大会のメインテーマ「輝く未来への礎」、サブテーマは「親から始める新時代の教育」です。このテーマの趣旨は、若者が抱える諸課題に対し学校に任せるのではなく、親自身がこうあるべきという姿を見せ、道標となることが求められている。新時代の教育とは、親が希望の持てる未来社会へのビジョンを持ち、自らが未来への礎となって主体的に行動し始めることだそうです。

開会前のアトラクションから地元高校生が躍動し、各種表彰、分科会、記念講演と盛りだくさんの内容で行われました。

その中で自分が参加した第3分科会「新時代のキャリアデザイン」の内容を紹介したいと思います。サブテーマの「ローカルキャリアが育む未来の働き方・生き方」の内容で基調講演を行い、各パネリストがディスカッションを行うというものでした。地域に関わりながら働き、地域という生活者に近いところで共生関係を持ちながら人や資源を生かし共創することと言われても今一つピンと来ませんでしたが、これからの若者たちが多様化する社会で、地域と密接に関わりながらキャリアを形成していくことが重要だということでした。

現在の社会構造上、様々な仕事を掛け持ちする欧州のような働き方はまだまだ許容できる環境にはありませんが、家庭・地域・学校がなすべき役割を考える良い機会となりました。

記念講演は澤田貴司さんの「やりたいことをやる」でした。伊藤忠商事・ファーストリテイリング（UNIQLO）・ファミリーマートと様々な会社で辣腕を振るわれている方です。

才能があるかないかではなく、失敗を恐れず挑戦することが大事という内容でした。子供達が未来を切り開くため、親としてできることがあるのではないかと考えさせられました。

このような貴重な機会に参加させて頂きましたことに感謝申し上げたいと思います。

これからも「一筋の道」をゆく生徒に、親として先輩として「生き抜く力」を伝えていきPTAとしてできることに邁進していきましょう。

高P連に参加して

学習委員　髙橋　君江

7月1日盛岡市文化ホールにて、第71回東北地区PTA連合会盛岡大会が開催されました。

研究協議では、「新しい生活様式における持続可能なPTA活動とは」のテーマで例年とは違う形式の六県の代表者によるパネルディスカッションが行われました。

コロナを気にしながらの活動で、PTAを見直す機会となっており、沢山の意見が出されました、その中でも、秋田県の代表の方の「出来ない言い訳をしない、したくない。やれることは確実にやる。前例にとらわれず、旧態依然の現状の検証が必要。そして子供の為、学校の為に原点に立ち返る必要がある。」との話に感銘を受けました。

午後からの記念講演では、南部美人代表取締役社長、5代目蔵元の久慈浩介氏が「南部美人の挑戦」という演題でお話をされました。

世界へ日本酒を広め、今では世界55ヵ国へ輸出し、生産量の30％超が海外で受飲されており、コロナの苦境の中、新規事業を立ち上げ経済被害を脱却したそうです。

医療的ケア児との出会いから、消毒用のアルコールを製造。周囲の大反対にあいながらも、どんなに困難な挑戦でも、目の前で困っている人を無視し通り過ぎることができなかったという言葉と行動力に感動しました。「ピンチをチャンスに。普通の時は普通にできる。大変な時こそ、やることに意味がある」と言われていた言葉が、PTAの活動にも通じる言葉だと思います。

コロナ禍で制限のかかった生活を続ける子供たちの為に、大人が、出来ない事に対して言い訳をせず、出来る工夫をぎりぎりまでしていく必要があると強く感じました。

ロードレース大会

ロードレース大会の応援活動を通じて

母親委員長　山中　和美

去る10月12日（水）10時より例年行われていますロードレース大会においてPTA活動の一環として応援活動に参加させていただきました。コロナ禍により、毎年行われていました青雲祭でのそば店の開催もとうとう3年間行うことができず、なかなか生徒と触れ合う機会もなく残念に思っていたところ、このような活動に参加させて頂き大変良かったと思います。ここ数年雨による延期もないと先生がおっしゃっておられたごとく清々しい天候のもと行うことができました。

これまでほとんど見ることができなかった全校生徒の姿を見ることができ、とても感慨深く感じました。一生懸命ゴールに向かい、汗だくになって力あんぱんとドリンクを手にする姿やゴールを共に称えあう姿を見ながら、とても微笑ましく思いました。

今日一日を通しながら、生徒達が日々、楽しく学校生活を送っているのだなと感じさせて頂くことのできた時間でした。このような貴重な機会を与えて下さり大変有難うございました。

女子総合第1位

2年D組　佐藤　鈴緒

今年のロードレースの感想を一言で言い表すと、「しんどかった」です。去年のロードレースは1年生で、初めてだったこともあり、比較的楽しい気持ちの方が大きかったです。今年もスタート前はとても緊張したし、正直嫌だなとも思いました。しかし、去年優勝していますが、プレッシャーは全くなく、楽しく走れたら良いかなと考えていました。前日、母に

「緊張するなー」

とつぶやいたところ、

「一生懸命走って、その結果が良かったらそれでいいんじゃない」

と言われました。それをもう一度思い出して「できることをやろう。楽しんで走ろう」と思い、スタートしました。去年よりもスタート直後みんな速く走っていたので少し焦りましたが、自分のペースで走れたのは良かったと思います。中間地点を超えてからは楽しいよりも苦しいが勝るようになりましたが、学校が見えてきて、2連覇を意識しました。ラストフィールド一周が一番きつかったです。足がもつれて減速してしまったのが心残りですが、2連覇できて一安心しました。来年、女子の中で3連覇できるのは私だけなので成し遂げたい気持ちもありますが、一番は一生懸命に、来年も楽しく走れたらなと思います。

団体優勝

2年D組　菅原　萌

私たち2年D組は、ロードレースで団体の部で1位を取ることができました。このような賞を取ることができてとても嬉しいです。

2年D組は、体育でロードレースの練習が始まるとなると悲鳴の嵐でした。雨が降っていたら全員で喜び、晴れると怒り、そのくらいロードレースが苦手でした。それでも、2年D組らしく明るく元気に盛り上げて、練習を頑張っていました。全員がゴールするまで全員で応援して、走り終わった人達には「お疲れ様」と声をかけ一人ひとりが努力したことで結果につながったと思います。また、練習を全員で頑張ったおかげでシード権に5人も入ることができて、とてもよかったと思います。

当日、とてもいい天気に恵まれロードレースを行うことができました。始まる前までは、それぞれが自分の思うように過ごし、リラックスした状態でスタートを切ることができました。一人ひとりが目標をもって挑んだことがよい結果につながったと思います。地点ごとにいた先生方の声援により2年D組全員が背中を押されたと思います。

このように練習や本番を通して、2年D組のよさがこの1位という結果につながったと思います。結果より、参加した全員が走りきることができて、いい思い出ができてよかったです。

令和4年第57回 校内ロードレース大会結果

●特別表彰（57位）
2C　牛崎　裕耶
3B　佐々木翠月

●部活動部門（1位）
バドミントン部男子
バドミントン部女子

●団体
1位　2年D組　71.95
2位　3年A組　73.27
3位　2年C組　78.41

男子8km	年組	名前	所属部	記録
1位	2A	土屋　伯斗	陸上競技	28分33秒
2位	3B	朝倉　大樹	陸上競技	29分36秒
3位	2B	佐々木悠仁	陸上競技	29分42秒
4位	2A	平賀　翔太	バドミントン	29分57秒
5位	2B	小山田泰地	バドミントン	30分4秒
6位	2B	葛巻　匠生	硬式野球	30分25秒
7位	1A	菅原　槙人	バドミントン	30分35秒
8位	2C	中島　光紀	陸上競技	30分36秒
9位	1A	小山　大翔	バドミントン	30分40秒
10位	2A	菊地　直仁	バドミントン	31分34秒

女子4km	年組	名前	所属部	記録
1位	2D	佐藤　鈴緒	バドミントン	16分25秒
2位	2D	河野　里穂	陸上競技	16分30秒
3位	1B	上野　結愛	陸上競技	17分11秒
4位	1D	熊谷　楓	バドミントン	17分32秒
5位	2C	池田　瑠羽	陸上競技	17分42秒
6位	2D	菅原　萌	バドミントン	18分17秒
7位	1D	黒田　紗希	バドミントン	18分25秒
8位	2B	佐々木青空	バレーボール	18分30秒
9位	2C	森　柑奈	バドミントン	18分44秒
10位	2B	久保田つぐみ	バドミントン	18分45秒

一筋の道をゆく我等

インターハイに出場して

2年D組　佐藤鈴緒

私は、徳島インターハイのダブルスとシングルスに出場しました。今大会を通して、沢山の課題が見つかり、さらに努力しなければいけないと改めて感じました。

今大会は初めての個人戦出場で、自分らしく楽しんでプレーすること、自分のベストを出し切ることを常に心がけました。

ダブルスでは1回戦の試合は、1ゲーム目前半は自分達のペースで展開することができていましたが、後半、一本のミスで流れを変えてしまい、1ゲーム目を取り切ることができませんでした。2ゲーム目は風向きも追い風となり、自分達が得意な攻撃を生かすことができました。ロブの使い方や相手への対応など、試合の中でコントロールしながらできたのはよかったと思います。3ゲーム目は全体的に自分達のペースで進めることができましたが、マッチポイントを取ってから連続失点したので、ミスを一本で止めること、流れを相手に渡さないことをこれからの練習でさらに意識していきたいと思いました。2回戦の倉敷中央との試合は、全体的に相手ペースで試合が展開されてしまいましたが、2ゲーム目は自分達のアタックを生かすプレーや空調をうまくみながらドライブなどで刺し込む球を使えたので、もっと活かせればよかったと思います。相手は前衛のタッチがうまく、自分達の球を抑えられてしまったことが多かったので、前衛をもっと強化していきたいです。ダブルスの課題は特にサービスレシーブ、ゲーム後半の集中力や判断力、レシーブの球種を増やしてプレーの幅を広げること、前衛の強化です。自分達の得意なアタックの形にうまく持ち込んでいけるように、これらの課題をしっかり克服してレベルアップしていきたいです。

シングルスの1回戦は長崎の諫早商業の選手で、1ゲーム目はリードされていたものの、後半相手のゲームポイントから追いつくことができましたが、最後は自分からミスをしてしまい、取り切ることができませんでした。2ゲーム目は前半9－0と大きくリードすることができましたが、一本相手に決められると、自分からのミスで相手に流れを渡してしまい、流れを戻すことができず、逆転負け、不甲斐ない試合をしてしまいました。得意な展開で得点することができた場面があったのは良かったです。しかし、ミスした時に自分の中で「何かが違う」と思ってしまい、プレーをする上での気持ちのコントロールができなくなってしまいました。一本取られた時に自分の中でしっかり修正して気持ちを切り替えてプレーすることが課題です。相手が向かってくるのに対して冷静に対応できるようにしたいです。これからの練習で、相手に流れを作らせないゲーム展開や、徹底してミスをしない技術力の向上、そのためのブレない体づくりなどをしっかり自分を見つめ直してまた頑張りたいと思います。

今回のインターハイは今までの経験を活かせた場面もありましたが、悔しい結果となってしまいました。来年の3月には全国選抜が岩手で開催され、地元開催でもあるので、もっともっと強くなって地元岩手でもっと活躍できるようにこれからも努力し続けていきたいと思います。

校歌が歌えない世代

3年D組　戸田彩水

入学してから早くも3年が経ち、卒業を間近に控えた今。振り返らずとも思い出せる出来事に溢れ、とても濃い高校生活だったと強く感じます。コロナ禍ド真ん中の世代で入学し卒業していく私たちですが、その制限があったからこその体験を私たちはできたと実感しています。

私自身が今回取り上げてもらったように、全国高校生文芸コンクールでの入賞をはじめとし、様々な経験を積むことができたのは、この高校の文芸部に所属できたからだと思います。入部のきっかけは「続けられそうな部活がこれだけだった」という単純かつ無機質なものでした。しかし、そのなんとなくで入った文芸部。活動場所は、夏は暑く冬は寒いそして暗い商事室。人目のつかない場で毎日2時間、百人一首と文芸作品の推敲・添削。地味すぎる環境下でも私が活動できたのは、部員がとにかく愉快であったからです。毎日の部活動が楽しくて仕方なかったのも部員のおかげで、続けることができたのも部員のおかげでした。今思えばこれは必然だったのかとも思います。そうこうあって百人一首でも文芸活動でも、全国大会まで名前を出すことができました。

今回、全国高校生文芸コンクールにて入賞した作品、詩・「前世漫談」は、現実と非現実を混同させた世界を「前世」と謳い、漫談師口調で描いたものです。実際のところ前世とは不確かな存在であります。その不確実な事柄を鮮明に力強く説くのがおもしろいと思って筆を進めました。どうにでもできる未来の不確実さより、もう戻れない過去の不確実さのほうが、実はよっぽど無責任で尊いものだという真理に気づいて頂けたら幸いです。

はじめから先のことなどいうのはわかりません。だからこそ不安や好奇心というフィルターはつきもので、それゆえの未来であると感じます。それを越えるかくぐるか破るか溶かすか、方法は人それぞれだと思いますが「なんとなく」で決めてもいいので、ぜひ自分の足を切り落とさないでほしいなと願います。

私たちは恐らく、唯一校歌が歌えないまま卒業する世代です。このコロナ禍という制限があるなかでも学べること、成長することはいくらでもできました。これが全てではないけれど少しだけ縋りながらこの先長い人生も自分の足で歩こうと思います。

ワープロ競技大会に出場して

3年B組　多田叶夢

私は7月27日に東京都で開催された全国高等学校ワープロ競技大会に出場してきました。この大会は、10分間という時間の中で文書をいかに早く正確に打つことができるかを競うものです。

県大会では3人1組のチームとなって出場していました。ですが全国大会では個人で出場することになりました。そのため、打者の変換を引き継いで自分の打数を伸ばすということはできなくなります。私は全国大会に向けて個人での練習をしていた際、変換のところで仲間に頼っていた部分もありましたので、最初のころは変換ミスが多々ありました。そこで文書を速く打つより正確に打つことを重視することで、自分の苦手な部分を克服できるように励んできました。また、漢字が多い問題を多めにやることで読めない漢字を減らすようにしました。

そして迎えた大会当日。会場の中は何百人も入れるような広さと奥行きがあり、全国から集まった高校生たちの数もとても多くて驚きました。競技が始まる前に自分で用意した問題を打ち、指を動かして準備をしていました。そして、大会の時間が近づいてきて緊張していましたが、柳原先生が練習の時に「大会を楽しんで」と言っていたのを思い出し、1回限りならその1回を楽しもうと思い、本番では少し気を楽にして臨むことができました。

結果は、1646字を打ち235人中46位という成績で終わりました。目標は入賞することでしたので、達成することができなかったのが心残りでした。ですが、普段の練習と同じくらい打つことができたので、満足のいく結果で

した。

後輩の皆さんも新人戦ではいい結果を残し部活に精一杯取り組んでいるので、その調子で仲間とともに切磋琢磨していってほしいと思います。

最後になりますが、この大会に出場することができたのは、ともに練習してきた仲間や柳原先生の厳しくも丁寧な指導、家族の支えがあったからこそです。本当にありがとうございました。

全国大会を通して

3年C組　大原空晃

私は、1月7日・8日に大阪の電気通信大学で開催されたジャパンマイコンカーラリー全国大会に出場してきました。

今回出場したAdvancedクラスは、2年生の時から出場しており、その時の地区大会では、惜しくも2位という結果で全国大会には出場することができませんでした。

そこからは、さらにタイムを縮められるよう、プログラミングの見直しや、車体でまだ改善できる所を探し、改良を始めました。しかし、就職に向けた進路活動や検定取得に向けた取り組みなどが重なり、車体の改善があまり進まず、地区大会前になって車体をどのように変えて臨むかを決め、出場しました。

地区大会では、一走目ではコースアウト、二走目で完走し、1位になり全国大会に行けることが決まりました。そこから全国大会までの間、本番で完走出来るように顧問の先生や部活内の仲間、去年卒業した先輩たちに相談しながら、車体の改良を続けました。その中で一番力を入れて取り組んだのはプログラムでした。クランクでの詰め方や、レーンチェンジをどれだけ攻められるのか、ディップスイッチを踏まえた上でカーブの値をどう調整するかなどを詰めていきました。

全国大会の出場マシンは、私の想像を遥かに超える車体ばかりで圧倒されてしまいました。しかし、そのような中でもひとまず完走出来るよう気持ちを切り替えて取り組んでいきました。大会のコースに合わせてマシンを調整し、試走を行いました。2回出来る試走の内、一走目は無事に完走することができました。二走目は攻めたプログラムで走らせ、コースアウトしてしまいました。

その後も調整を続け、本番の一走目に臨みました。とりあえず一走目は完走することが出来ました。その後、二走目までの時間に顧問の先生からのアドバイスを受けつつ調整しました。プログラムを詰め、二走目を走らせタイムを縮めることができました。

決勝トーナメントには出場出来なかったものの、完走し結果を残すことができました。しかし、まだプログラムを詰められたのではないか、車体ももう少し工夫出来たのではないか、という後悔が残りました。また、今大会で他県のハイレベルな車体を見て様々なことを学べました。今回の経験はとても貴重なもので、自分自身も成長することができました。

全国大会出場に際し、顧問の先生をはじめとする沢山の方に協力してもらいました。本当にありがとうございました。今回の大会で部活動は引退となりますが、後輩にこの経験を伝えていきたいです。

3年間の軌跡

◎皆勤賞

3A　奈輝生　田村来海　太木菜大　久保田雅文　齊藤石橋和龍　白石来口黒麒　高橋黒藤賢　戸山石伊

3B　敢智康生成子汰

3C　郎琉夏泉晃月希菜臣夢望遥真　悠太光彩希空美光羽木　来葉原部池々藤田田　戸松柳阿大川菊佐佐多多

3D　音天光由佑早葵弥月琉　星川山泉木黒菅照晴　本澤村川原井山

◎精勤賞

3A　小沼　琳

3B　峰斗叶有晴倭　崇歩夏天乃　菅佐藤阿佐髙佐々佐藤髙渡　生弥部藤部橋々木橋邊　小々原部藤橋木木　虎麻登帆華　絢秀絵柊華

3C　奈里和華恵凛咲唯利希　莉朱日和彩実真栞璃　部池池吉木川田澤上　阿菊菊菊笹瀬千塚村　池池池木川田澤上　菊剣笹瀬千塚村

3D　乃彩ん希月太海斗夢梨我　鈴恋り大翠亮琴隼叶月飛　藤藤小菊佐佐瀬多照中　伊伊川池々々藤川田井島　木木　木

体育祭

青雲祭

講話を聞いて

保健講話「食育について」

令和4年10月4日（火）
「未来をつくる食事力」
講師・ドクターズレストラン Green＊Green
管理栄養士
臼井　名津子　氏

3年D組　釼吉　彩恵

「食生活が乱れると生活も乱れる」という言葉が印象的でした。生きる上で大切な衣食住のうち、1つでも怠ってしまうと全てのバランスが乱れ、くずれていくことを学びました。また、最近の日本全体の食生活は、昔よりも欧米化、外食文化の発展が進んだことで、安くてカロリーが高いものがより多く普及し、若者でも肥満者になったり、生活習慣病を引き起こしたりする人が増加していることを初めて知りました。その影響で、動脈硬化症の危険が高まり、将来的に血管に傷をつけてしまったり、破れてしまうため、毎日自炊をしなくても、買ってきたお惣菜にプラスして作ったり、買ってきたお弁当に足して1品手作りすることを心掛けたいと思いました。また、血糖値が高くなりやすい物を食べる時は①野菜を先に食べておく②運動をする前に食べておくという「タイミング」が大切ということを学びました。

保健講話「くすりについて」

令和4年11月22日（火）
講師・フロンティア薬局
学校薬剤師
田村　宏明　氏

3年C組　佐々木　実音

くすりとは、あくまで体にとっての異物であるため、普段から健全な食生活・適切な運動・適切な休息を取って、自然治癒力をアップさせていきたいと思いました。また、くすりの用法・用量や、服用する時間についてのルールをしっかり守って、正しくくすりを使用していきたいと思いました。特に、「くすりを飲み忘れたからといって1度に2回分飲まない」ということや、「のみ薬は、コップ1杯の水またはぬるま湯でそのまま飲む」という点に注意していきたいです。そして、医療用医薬品、一般用医薬品、OTC医薬品のどれについてもくすりの説明書をよく読むことが大切だと再確認することができました。

これからは、セルフメディケーションのために自分自身で自分の健康管理をして、病気の症状によってどのくすりを使うかよく考えて使用していきたいです。くすりの依存症にならないように、そしてくすりが毒にならないように、正しく「くすり」を使用するよう心がけていきたいです。

がん教育講演会

令和4年12月13日（火）
「がんの予防、治療、緩和ケア～患者さんと家族をささえるチームの力～」
講師・岩手県立中部病院
副院長
星野　彰　氏

1年A組　鈴木　眞白

自分は、今日の講演会を通して、がんは自分達の生活においてすごく身近なものだったんだなと感じました。

特に自分が怖いなと感じたことは、がんは誰でもなる可能性のある病気という点です。「たばこを吸っているから、飲酒をしているからがんになりやすい」と思いがちだけど、それは「がんのリスクを高める行為」であって、健康な人でも急にがんになることがあるということを知りました。

がんの予防は、早期発見・治療が大切だと聞いたことがあるので、自分も検診をうけられる年齢になったら、検診をうけてみようと思いました。また、少しでもがんで苦しむ人を減らすために、予防や検診をすすめられる人になりたいです。

もし、身近な人や自分ががんになっても、気持ちは落ち込むと思うけど、自分にできること、相手にしてあげられることを考えて行動したいです。

薬物乱用防止講話

令和5年1月31日（火）
「不正薬物乱用防止と税関の役割」
講師・函館税関釜石税関支署　山本　元嗣　氏

1年A組　中村　耀

ニュースを見ているとまれに麻薬のことを報道していることがありますが、改めて危険性を学ぶことができました。また、若年層を中心として、手を染めてしまう人が多いことや、年々検挙している数も増えていることを初めて知りました。手を出してしまう要因として、一部の麻薬は、簡単に手に入ってしまうこと、誘われて、一回だけなら、仲間はずれにされたくないからと心が揺れてしまったり、圧力に負けてしまったりと、人間としての弱いところ

があったりするということを再確認することもできました。きっぱりと断るということを分かっていても、実際にその場になってみると言えないということになることを学び、そうすることが難しいことも学んだので、今まで以上に強い心を持つようにしたいです。

麻薬の密輸を防ぐために、水際で日夜働いていることを学び、税関では、貿易関連の仕事の他にも、日本の安全を守っていることも知りました。陸上・海上のどちらでも常に警戒して、警備を網羅させていたり、外国から船、貨物、荷物のその全て、徹底的に検査、取締り、検挙、摘発していることを知り、安全・安心を守るため最新鋭の機械、麻薬探知犬の導入といった厳重体制を築き上げていることを知りました。

一年間の軌跡

【情報工学科】

出前授業を通して

情報工学科　福島　豊

12月27日（火）に八重畑学童クラブにおいて、岩手大学生産技術センター花巻サテライト主催による理科教室の出前授業を行ってきました。1・2年生グループでは手回し発電機と発電活用装置を利用して、発電・蓄電について学習したのち、発電量やLEDの点灯速さを競うゲームを行いました。3・4年生グループではサランラップの芯を利用してコイルを作り、金属探知機に接続して、2チームに分かれ隠してある金属を探し出すことを行いました。5・6年生ではプリント基板に電子部品をハンダ付けして回路を完成させ、動作確認を行いました。初めての作業ということもあり苦労した部分もありましたが、講師を務めた生徒たちが、それぞれの不具合箇所の対応をしたことで全員完成させることができました。水分検出した際には、八重畑小学校の校歌が流れるようにしてあり参加した児童たちはとても喜んでいました。

各グループを担当した本学科の1年生と3年生11名が講師を務めた生徒たちは、児童たちに「教えることの楽しさ」とともに「理科の魅力」を伝えることができたとてもよい機会であったと思います。出前授業は3年ぶりの実施となりましたが、来年度からは地域の小中学校により多くの出前授業を実施することで、本学科の魅力を情報発信していきたいと考えています。

【ビジネス情報科】

青雲祭マーケットを通して

2年C組　和野内　奏詩

青雲祭マーケットでは、生徒がいくつかの班に分かれ、全国各地の名産品を取り寄せ、文化祭でお客様に販売しました。この企画は、青雲祭で行われている伝統あるものです。今年度は昨年度と変わり、全校生徒の同居家族、近隣にある中学校の3年生を迎え入れての開催となりました。

全国を地方ごとに班に振り分け、地域の特色などを調べながら何を売りたいか個々で考えての作業となりました。私のグループは山陰地方と瀬戸内地方を選択し、私は愛媛県を担当しました。インターネットを使いその地域を調べていくうちに何が有名なのかなど、今まで知らなかったことにも触れることができました。何を仕入れたら売れそうか、誰をターゲットとするかなど全部自分たちで決めるという新しい体験でした。仕入れ先に個々で電話をかけ交渉し、FAXを送るなど日常生活では体験することができないことを味わうことができ、とても良い経験になりました。電話をかける時の対応を何度も確認し緊張してかけましたが、担当の方が優しく丁寧な対応をしてくださったので焦ることなく落ち着いて交渉することができました。授業で習った仕入値などの価格設定をより実践的に行ったため、理解を深めながら学ぶことができました。POP制作では、その商品のおすすめしたい部分や特徴をよりわかりやすく、より目立たせるよう工夫を凝らし苦戦しながらの作業でした。手書きだったため、それぞれの個性が活きたPOPができあがったと思います。

今回の青雲祭マーケットで仕入からの一連の流れを経験

ビジネス情報科の取り組み

3年「課題研究」ビジネスプラン・グランプリ①

生徒が主体的に行動し、若者の目線で新しいビジネスプランを考えました。企業へのヒアリングなどを通してビジネスの知見を深め、地域の未来を創造するきっかけとなりました。

地域貢献活動② 朝市「ひといち」

朝市での商品販売を通じて、地域の皆様と交流を深めることができました。

地域貢献活動③ 石鳥谷「酒蔵祭り」

石鳥谷商店街「酒蔵」のオープニングイベントにビジネス情報科の生徒も参加しました。

地域貢献活動④ 「道の駅」石鳥谷

商業研究同好会の生徒が週末に商品の陳列や販売を行い、これまで学んできた会計・情報処理・マーケティング等の知識を統合的に生かし、主体性や接客のマナー等を実践できる貴重な体験となりました。

し、商品の見せ方や販売することの難しさを実感することができ、大きな学びのひとつとなりました。この経験をこれから先の生活で活かしていきたいと思います。

アサヒ飲料とともに地域共創を

2年B組　阿部　結太

アサヒ飲料コラボでは、「地域共創・Community～地域・人に寄り添い、豊かな地域を共に創る～」をコンセプトとして掲げ、地域貢献を行い、魅力ある花巻市を多くの方に知ってもらいたいという考えからアサヒ飲料さんとの協同活動が始まりました。

まず、大手飲料メーカーと花北青雲高校がコラボするようになったきっかけは、私達の先輩が地元飲食店の魅力をPRしようと、各店のサービス券と市営循環バスの乗車券、オリジナルアクセサリーを入れたカプセル自動販売機を設置するというすばらしいプロジェクトがテレビで放送されました。その放送がアサヒ飲料で働いている峯さんの目に留まったのが始まりで、今年度からコラボを行うようになったのがきっかけです。

プロジェクトを進めるにあたって、やはり私達生徒だけでは限りがあるので、アサヒ飲料さんや担当の先生方からのサポートを受けながら、子供なりに想像を膨らませたり、時には現実的に大人になって物事を考えたりして試行錯誤を繰り返してきました。そうして私達は、先輩達の取り組みをヒントにし、花北青雲高校のマスコットキャラクターの認知度をあげたいという願いから、「くまくも」を活用したデザインを生徒達が作り、自動販売機へラッピングすることになりました。その他にも売上の一部をフードバンク岩手へ寄付する社会貢献を考えました。これらを実行するにあたり、生徒がいくつかの班に分かれて、一人一人が重要な役割を担いながら協力し合い取り組んでいます。

最後に、私はこのプロジェクトを通して改めて俯瞰する力が何事においても必要不可欠だなと思いました。今までの取り組みは目の前のことに集中していた気がするので、まだ続く地域共創プロジェクトを一歩引いた視点で考え、必ずすばらしいものにします。

【総合生活科】

令和5年1月31日（火）に総合生活科3年間の集大成となる保護者感謝会を行いました。

保護者からのメッセージ

入学からコロナで行事が中止になることが多い3年間でした。今回、感謝会が再開出来て良かったです。参加することが出来て良かったです。はじまりの会がスタートしたときは、照れくさくてドキドキしているのを感じました。親はワクワクしていました。手話合唱では、手話をしながら歌っているのを見ていて、気持ちが伝わってきて感動しました。オペレッタの「てぶ

くろ」は、始めちょっと恥ずかしそうでしたが、みんな楽しく演技していて良かったです。コース料理にも感動しました!!ひとつひとつ丁寧に料理が作られていて、盛り付けも素晴らしかったです。とてもおいしくて完食しました。食事中のハンドベルやピアノ演奏は、みんな一生懸命ですばらしいBGMでした。最後、お茶を振舞って頂いて、久しぶりに美味しいお茶を頂きました。サプライズで色紙、花束のプレゼント、うれしかったです。D組のみなさん、すばらしいおもてなしをして頂き感動しました。みんなの感謝の気持ちが伝わりました。本当にありがとうございました。

コロナの影響で以前のような活動ができなくなり、まさか、娘が青雲高校に入学してこの機会が訪れるとは思っていませんでした。今年度は開催されると知り、すぐに参加することを伝えました。実際参加してみると、会場への生徒の誘導や案内も丁寧で、会場にスムーズに辿り着きました。手話合唱、オペレッタ、食事の1つ1つ、ハンドベルやピアノ演奏も練習の成果が見られました。授業や検定でとても練習したのだと思いました。一番嬉しかったのは色紙いっぱいに書かれた親への感謝のメッセージでした。普段は、そんな素振りは見せないのにちゃんと大人へと成長していて自分の気持ちを自分の言葉で伝えてくれて嬉しかったです。私の夢であった保護者感謝会を開いてくださった学校と、一生懸命もてなしてくれた3年D組の生徒に感謝しています。

総合生活科での3年間で学んだこと

3年D組　菊池　日和

高校生活では、食に関する知識や技術を身に付けたり、1枚の布から甚平やブラウスを作り上げたり、家庭看護技術や言語表現技術等、保育についても学びました。他にも、茶道や華道、書道、裝道、シュガークラフトや和菓子講習会といった総合生活科でしか学べないことにたくさん触れることができ、充実した高校生活を送ることができて幸せでした。

3年間で一番印象に残っていることは、商品開発に向けた取り組みです。生活産業基礎や課題研究の授業で商品開発の基礎を学び、自分たちが1から考えた商品を自分たちで販売する活動を通して、地域の方々と交流する機会がありました。「新聞を見て買いに来ました」「前回買って、おいしくてまた買いに来ました」などと嬉しいお言葉をいただけることも多く、心が温かくなりました。商品を考えるにあたり、最初はあまり自分から意見を出すことができませんでしたが、お客様の立場を考えたうえでよりよい商品になるよう、自分の意見をはっきりと伝えられるようになりました。私は、苦手としていたことも、優しい3Dの仲間がいたからこそ乗り越えられました。販売のために放課後まで準備をしたり、課題が残るとみんなでとことん意見を出し合って改善したり、辛い経験もありましたが、その時間も含めて仲間とかけがえのない時間を共有できたことは、何よりの宝だと思っています。

困難なことがあり挫けそうになっても、常に励ましてくれた家族、親身になって寄り添ってくれた先生方、相談に乗ってくれた友人のおかげで今の私がいます。卒業後も、3年間の学びと感謝の気持ちを忘れず、お世話になった方々に恩返しできるよう日々努力します。

花北青雲高

特産物生かし新商品

きりせんしょ、洋風に

岩手日日
令和4年10月30日

令和4年度進路概況

進路指導部　三浦　秀樹

3年ぶりにインターンシップを実施するなど、コロナ前に戻ったような学校生活になり、3年生は民間就職63名、公務員6名、進学75名（2月9日現在）の内定・合格者を出せたことは何よりであった。

就職面をふり返ると求人数にも恵まれ、9月16日からの第1陣での合格率も高く善戦した。また特定の企業に就職する生徒が多いのが今年の特徴だったが、来年度は花巻管内の有力企業にも良い人材を送っていきたいと考えている。

2月に本校で開催された花巻市主催出前型企業説明会では花巻管内4社からの説明を受け、生徒の意欲的な姿勢は関係者に評価をいただいているが、新3年生は油断せずに進路活動に取り組むことにより、今年度同様の好結果につなげてもらいたい。来年度も3年生は総合的探究の時間（木曜日5～6校時）を中心にSPI対策や模擬面接を実施する予定である。

公務員は6名の採用が決定した。2年前からコロナ禍による安定志向が強まり、競争率が高まる中で苦戦を強いられた。しかし生徒はこうした背景をものともせずに果敢に挑戦し、6名合格という結果を出したことには満足している。また、今年採用が叶わなかった生徒の約半数は専門学校でさらに強力な対策を講じ、再チャレンジを考えている。

合格した6名については試験対策の取り組みが早かったことが勝因として上げられると思われる。毎日の計画的な家庭学習と外部講師ガイダンスへの積極的参加、そして何よりも目標実現のための学習意欲の向上が見られた。平日の放課後も自ら盛岡の専門学校に通い、模擬面接に参加するなど最後まであきらめずに地道に取り組んだことが合格という成果を生み出したことと言えよう。

進学希望者は岩手大学理工学部1名・弘前大学人文社会科学部1名・岩手県立大学ソフトウエア情報学部2名の国公立大学4名をはじめ75名が多くの進学先を決定している。指定校推薦・一般推薦や総合型入試による受験により合格した生徒が多いが、1・2年生の進学希望者は志望先の入試制度を熟慮した上で対策を立てるべきである。卒業生の合格体験記を読むと、4大進学者は「もっと早くから勉強しておけばよかった」と多くの生徒が書いている。結果的に合格を勝ち取り、多くの生徒は次の希望のステージに上がることが出来るのだが、余裕をもって進路活動をすべきだったと振り返っている生徒が多い。そうした先輩たちからの助言を忘れずに、新3年生は目標実現にむけて取り組んで欲しいと思われる。

いずれ卒業生の進路先を決定することが出来たのは、保護者の皆様のご指導と本校教育へのご理解によるものと思われる。この場を借りて感謝申し上げる次第である。

高校時代とは、いったいどのような時期なのだろう、ふと考えることがある。

人格形成の時期、人生の分岐点の時期、青春時代……様々な言われ方があるが、いずれにせよ、自らの人生において大切な時期であることは間違いない。一方、我々大人たちは、よく「あの日に帰りたい」という言葉を口にする。結局のところ、大人は誰しも程度の差はあれ後悔の念を持っているということである。

私たち教師の使命はかつての自分たちに置き換えて、生徒に少しでも「たら」「れば」なき人生を歩んでもらうようサポートすることである。

「あの日の自分に言いたいことを今の生徒たちに言ってあげたい。背中を押してあげたい。知らなければならない情報を提供してあげたい。翻弄させるような情報から守ってあげたい。」

そのことを常に念頭に置き、これからも生徒の進路活動をサポートしていく所存である。

生徒会功労賞

（県大会優勝または最優秀賞、東北大会入賞、全国大会に出場した団体または個人）

(1)第73回全国高等学校総合体育大会バドミントン競技
女子ダブルス
2C　森　　柑奈　2D　佐藤　鈴緒
女子シングルス
2D　佐藤　鈴緒
男子ダブルス
3A　佐々木歩生　3C　黒田　脩生
第41回全日本ジュニアバドミントン選手権大会
女子ダブルス
2C　森　　柑奈　2D　佐藤　鈴緒
第51回全国高等学校選抜バドミントン大会
男子団体
2A　平賀　翔太　2A　菊地　直仁
2B　菅野　夏央　2B　人首　稜太
2B　小山田泰地　1A　菅原　槙人
1A　鈴木　眞白
女子団体
2B　久保田つぐみ　2C　森　　柑奈
2D　佐藤　鈴緒　1C　村松　愛花
1D　熊谷　　楓　1D　黒田　紗希

(2)第64回全国高等学校ビジネス計算競技大会
2C　和野内奏詩
(3)第46回全国高等学校総合文化祭とうきょう総文2022
小倉百人一首かるた部門
3D　菅原　百花　3D　戸田　彩水
2C　川村　真鈴
令和4年度岩手県高校生文芸コンクール
詩部門　最優秀賞　3D　玉山日菜美
詩部門　優秀賞　3D　戸田　彩水
(4)令和4年度第69回全国高等学校ワープロ競技大会
3B　多田　叶夢
令和4年度岩手県高等学校新人ワープロ競技大会
団体の部　第1位
2B　藤瀬日陽莉　2B　松本　涼花
2D　岡崎　愛月
(5)ジャパンマイコンカーラリー2023全国大会
3C　大原　空晃
(6)令和4年度全国高等学校情報処理競技大会
3C　佐々木羽菜

◉ 令和４年度民間就職・公務員・進学内定状況（令和５年２月20日現在）◉

※公務員の（　）の数値は合格者数。右側の数値が進路決定者数。　　※企業名・学校名　順不同

区分 種別	職種	情報工学科 男	情報工学科 女	ビジネス情報科 男	ビジネス情報科 女	総合生活科 男	総合生活科 女
【金融・保険業】							
管内 花巻信用金庫	事務職			1	1		
県内 （株）岩手銀行	銀行業務全般				1		
北上信用金庫	金融事務一般						1
小　計	4	0	0	1	2	0	1
【卸売・小売業】							
管内 （株）PALTAC東北支社	物流職	1					
（株）あらた東北支社	物流職	1					
（株）メディセオ	商品管理職				1		
県内 岩手日産自動車（株）	営業			1			
ホンダカーズ岩手南（㈱）	営業サポート			1			
県外 水戸工業（株）	営業事務				1		
（株）成城石井	販売	1		1			
（株）丸大サクラヰ薬局	店内販売員			1			
（株）ヨーク	販売職						1
小　計	10	3	0	4	2	0	1
【複合サービス業】							
管内 花巻農業協同組合	総合職				1		1
県外							
【生活関連・宿泊・飲食サービス業】							
管内							
県内 （株）東横イン北上駅新幹線口	フロント			1			
県外 （株）西武・プリンスホテルワールド	ホテルサービス				1		1
小　計	5	0	0	1	2	0	2
【製造業・建設業】							
管内 （株）アイオー精密	事務職				1		
SWS東日本（株）大迫工場	製造（一般職）	1					
（有）COS工業	製造						1
イーエヌ大塚製薬（株）	医薬品製造	1					
日東工業（株）花巻工場	製造技能職	1					
（株）中央コーポレーション	事務						1
富士フィルムヘルスケアマニュファクチャリング（株）	資材調達						1
富士フィルムヘルスケアマニュファクチャリング（株）	製造技能職	1	1	2			
フクビハウジング（株）	総務経理事務				1		
県内 キオクシア岩手（株）	技能職	2		7	1		
キオクシア岩手（株）	技術職			1	4		
キオクシア岩手（株）	事務職				2		
ホクト（株）	事務職						1
（株）YDKテクノロジーズ	製造	1					
東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ（株）	製造エンジニア	1					
県外 （株）ディックソリューションエンジニアリング	システムエンジニア			1			
興亜エー・シー・エル（株）	製品検査				1		
（株）トッパンコミュニケーションプロダクツ	オペレーティングスタッフ				1		
小　計	35	8	1	11	11	0	4
【電気・ガス・熱供給・水道業】							
県内 水ing（株）東北支店	運転管理			1			
小　計	1	0	0	1	0	0	0
【情報通信・運輸業】							
管内 岩手雪運（株）	事務				1		
県内							
県外 東日本旅客鉄道（株）	エリア職				1		
小　計	2	0	0	0	2	0	0
【専門・技術サービス業】							
小　計	0	0	0	0	0	0	0
【医療・福祉】							
管内 上村歯科医院	歯科助手						1
医療法人　小原クリニック	臨床工学技士補助						1
社会福祉法人　宝寿会	介護職員						1
医療法人吉林会　イーハトーブ病院	調理員						1
県内 （株）システムエイド	医療事務				2		
小　計	6	0	0	0	2	0	4
【不動産業・物品賃貸業】							
小　計	0	0	0	0	0	0	0
【教育・学術支援業】							
小　計	0	0	0	0	0	0	0
企業就職内定者計	63	11	1	18	21	0	12

区分 種別	職種	情報工学科 男	情報工学科 女	ビジネス情報科 男	ビジネス情報科 女	総合生活科 男	総合生活科 女
【公務員】							
税務職員　関東	一般行政事務				(1)		
税務職員　東北	一般行政事務			(1)1			
岩手県職員	一般事務			(1)1	(2)2		
岩手県職員	警察事務				(1)1		
盛岡市職員	一般事務				(1)		
花巻市職員	一般事務				(1)		
北上市職員	消防官	(1)1					
自衛隊　一般曹候補	自衛官			(1)	(1)		
自衛隊　自衛官候補	自衛官	(1)		(2)	(1)		(1)
公務員合格者の数( )	16	2	0	5	8	0	1
公務員内定者計	6	1	0	2	3	0	0
就職内定者総計	69	13		44		12	
【国公立大学】	4						
弘前大学　人文社会学部					1		
岩手大学　理工学部		1					
岩手県立大学　ソフトウエア情報学部		1		1			
【私立大学】	19						
東北学院大学　経済学部				1			
東北学院大学　経営学部					1		
東北工業大学　工学部		1					
東北工業大学　建築学部		1					
石巻専修大学　理工学部		2					
東北文化学園大学　建築学部		1					
日本工業大学　先進工学部		1					
千葉商科大学　商経学部				1			
文教大学　経営学部					1		
富士大学　経済学部				2			
国際医療福祉大学　保健医療学部							1
盛岡大学　栄養科学部							3
盛岡大学　文学部							1
宮城学院女子大学　学芸学部							1
宮城学院女子大学　教育学部							1
小　計	23	8	0	5	3	0	7
【国公立短期大学】	3						
岩手県立大学盛岡短期大学部　生活科学科							1
会津大学短期大学部　産業情報学科					1		
会津大学短期大学部　幼児教育科							1
【私立短期大学】	5						
仙台青葉学院短期大学　教命救急学科				1			
盛岡大学短期大学部　幼児教育科							4
【公立短期大学校】	4						
岩手県立産業技術短期大学校　メカトロニクス技術科		2					
岩手県立産業技術短期大学校　情報技術科				1			
岩手県立産業技術短期大学校　産業デザイン科					1		
小　計	12	2	0	2	2	0	6
【専門学校】	40						
盛岡情報ビジネス＆デザイン専門学校　情報システム学科				5			
盛岡情報ビジネス＆デザイン専門学校　総合システム工学科				1			
大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校盛岡校　経理ビジネスコース				2			
大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校盛岡校　税理士コース学科					1		
大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校盛岡校　医療事務コース					1		
岩手医科大学医療福祉専門学校　歯科衛生士科					1		
大原スポーツ公務員専門学校　1年制公務員チャレンジコース				2			
盛岡医療福祉スポーツ専門学校　医療事務学科					1		
盛岡医療福祉スポーツ専門学校　こども未来学科							2
盛岡ヘアメイク専門学校　美容科					1		
盛岡ヘアメイク専門学校　ビューティーセラピスト科							1
北日本医療福祉専門学校　こどもマイスター養成科						1	
北日本医療福祉専門学校　介護福祉科							1
花巻高等看護専門学校　看護学科							1
北日本ハイテクニカルクッキングカレッジ　高度調理科							1
北日本ハイテクニカルクッキングカレッジ　高度製菓衛生士科							1
専修大学北上福祉教育専門学校　保育科					1		7
千厩高等技術専門学校　自動車システム科		1					
松下幸之助商学院		1					
仙台リゾート＆スポーツ専門学校　スポーツITトレーナー科		1					
仙台デザイン＆テクノロジー専門学校　スーパークリエイター学科				1			
宮城文化服飾専門学校　服装科							1
北上コンピュータアカデミー　システムネットワークコース				1			
仙台大原簿記情報公務員専門学校　税理士会計コース				1			
盛岡公務員法律専門学校　行政事務科				1	1		
小　計	40	3	0	14	7	1	15
進学合格者総計	75	13		33		29	
【進学予備校・留学準備等】							
小　計	0	0	0	0	0	0	0
進路決定者総計	144	26		77		41	

令和4年度 部活動等成績

硬式野球部

◆第69回春季東北地区高等学校野球岩手県大会　花巻地区予選
1回戦　対遠野○4－2
2回戦　対花巻東●1－12
（5回コールド）
敗者復活戦　対花農●0－10
（5回コールド）
第3代表決定戦　対花南●1－9
◆第104回全国高等学校野球選手権大会岩手大会
1回戦　対福岡工○6－4
2回戦　対伊保内・軽米●　2－5
◆第75回東北地区高等学校野球岩手県大会花巻地区予選
1回戦　対遠野緑峰○13－0
（5回コールド）
2回戦　対花巻東●0－11
（5回コールド）
敗者復活2回戦　対花農○15－2
（5回コールド）
代表決定戦　対花南●0－2

ソフトボール部

◆第74回岩手県高等学校ソフトボール競技
1回戦　対大船渡○23－13
2回戦　対花巻南●1－9　ベスト16
◆令和4年度高校女子ふれあいソフトボール大会
予選リーグ
対盛岡農業○6－3
対千厩●9－10
2位リーグ
対宮古商工・宮古●3－12
対一関第二●2－7
◆第15回岩手県高校女子ソフトボール大会
1回戦　対一関第二●0－13
◆第69回岩手県高等学校新人大会ソフトボール競技
1回戦　対盛岡市立●1－11

卓球部

【男子】
◆令和4年度岩手県高等学校体育大会
男子　団体3位
◆令和4年度第68回岩手県高等学校新人卓球大会
男子団体3位
男子ダブルス　ベスト8
伊藤蓮・木村鴻聖
◆令和4年度第46回東北高等学校選抜卓球大会岩手県予選会
男子学校対抗　第2位（東北大会出場）
【女子】
◆令和4年度岩手県高等学校体育大会
女子団体　ベスト8
女子ダブルス　ベスト8
八重樫恵・和野内奏詩（東北大会出場）
◆令和4年度東北高等学校卓球選手権大会
女子ダブルス　1回戦敗退
八重樫恵・和野内奏詩
◆令和4年度第68回岩手県高等学校新人卓球大会
女子団体　ベスト8
女子ダブルス　第3位
八重樫恵・和野内奏詩

バレーボール部

【男子】
◆第75回全日本バレーボール高等学校選手権大会岩手県予選会
1回戦　対水沢●0－2　初戦敗退
◆第70回岩手県高等学校新人大会
1回戦　対黒工●0－2　初戦敗退
【女子】
◆第74回岩手県高等学校総合体育大会バレーボール競技
2回戦　対宮古○2－0
3回戦対盛岡市立●1－2　ベスト16
◆第75回全日本バレーボール高等学校選手権大会岩手県予選会
1回戦　対盛岡商業●1－2
◆第70回岩手県高等学校新人大会バレーボール競技
1回戦　対宮古　○2－0
2回戦　対大船渡　●0－2　ベスト16

柔道部

【男子】
◆第74回岩手県高等学校総合体育大会柔道競技
女子団体
1回戦　対盛岡一●0－3
男子個人
60kg級　佐藤響紀　1回戦　技有優勢
　2回戦　敗退
66kg級　晴山周治　1回戦　技有優勢
　2回戦　敗退
女子個人
48kg級　大瀧陽愛　棄権
57kg級　押切愛佳　1回戦　敗退
◆第55回岩手県高等学校1・2年体重別柔道選手権
男子個人　2年の部
60kg級　佐藤響紀　1回戦　不戦勝
　2回戦　敗退
66kg級　晴山周治　1回戦　内股
　2回戦　敗退
女子個人
48kg級　大瀧陽愛　1回戦　敗退
57kg級　押切愛佳　1回戦　敗退
◆第67回岩手県高等学校新人柔道大会
男子団体　3人制
1回戦　対大船渡・盛岡四・盛岡市立●0－3
女子団体
1回戦　対不来方●0－2
男子個人
60kg級　佐藤響紀　1回戦　不戦勝
　2回戦　敗退
66kg級　晴山周治　1回戦　敗退
女子個人
48kg級　大瀧陽愛　1回戦　不戦勝
　2回戦　合せ技
　3回戦　敗退
57kg級　押切愛佳　1回戦　敗退

陸上競技部

◆第74回岩手県高等学校総合体育大会陸上競技花巻地区予選
★個人通過　7名
土屋伯斗　5000m　砲丸投
小田島寛斗　砲丸投
朝倉大樹　400mH　砲丸投げ
佐藤晴天　砲丸投げ
菊池海斗　200m
池田瑠羽　800m・1500m・3000m
河野里穂　800m・1500m・3000m
★リレー通過　男子6名（個人含む）
◆通過計　11名：選手全員通過
◆2022岩手県春季陸上競技大会
男子100m　新関優仁　141位
　畠山烈　145位
400m　朝倉大樹　52位
　菊池海斗　71位
1500m　土屋伯斗　56位
　佐々木悠仁　81位
400mH　中島光紀　棄権
　朝倉大樹　10位
砲丸投　佐藤晴天　15位
　小田島寛斗　30位
女子1500m　池田瑠羽　45位
　河野里穂　58位
◆第74回岩手県高等学校総合体育大会陸上競技
男子
土屋伯斗　5000m　予選敗退
小田島寛斗　砲丸投　NM
朝倉大樹　400mH　準決勝進出
佐藤晴天　砲丸投　13位
菊池海斗　200m　予選敗退
女子
池田瑠羽　800m・1500m・3000m　棄権
河野里穂　800m予選敗退
　1500m予選敗退
　3000m　14位
◆2022岩手県陸上競技選手権大会
一部（国体選考会部門）
朝倉大樹　400mH
　予選通過・決勝進出：第7位
二部（記録会部門）
佐藤晴天　砲丸投げ　第5位
河野里穂　3000m　第4位
池田瑠羽　3000m　第6位
◆第73回岩手県高等学校新人陸上競技大会
女子
河野里穂　3000m　第8位
朝倉大樹　400mH　砲丸投げ
菊池海斗　800m・1500m・3000m
池田瑠羽　800m・1500m・3000m
河野里穂　800m・1500m・3000m
◆2022岩手県秋季陸上競技大会
男子
朝倉大樹　800m　第25位
小田島寛斗　砲丸投　第19位
女子
河野里穂　800m　第26位
及川花香　やり投　第14位
◆2022岩手県ベイ・チャレンジ陸上
3rd
男子
土屋伯斗　3000m　第4位
佐々木悠仁　3000m　第7位
中島光紀　3000m　第6位
女子
河野里穂　3000m　第9位
1500m　決勝進出

バドミントン部

【男子】
◆第74回岩手県高等学校総合体育大会バドミントン競技
学校対抗　第2位　東北大会出場
ダブルス
第2位　佐々木歩生・黒田脩生
　インターハイ出場
第4位　平賀翔太・小山田泰地
　東北大会出場
シングルス　ベスト8　平賀翔太
◆第51回東北高等学校バドミントン選手権大会
学校対抗
1回戦　対鶴岡工業●1－3
ダブルス　1回戦
佐々木歩生・黒田脩生
対聖ウルスラ学院英智●0－2
平賀翔太・小山田泰地
対聖ウルスラ学院英智●0－2
◆第73回全国高等学校総合体育大会バドミントン競技
男子ダブルス
佐々木歩生・黒田脩生
1回戦　対広島城北●1－2
◆第51回全国高等学校選抜バドミントン大会東北地区予選会
学校対抗
1回戦　対清陵情報○3－0

2回戦　対秋田○3－2
準々決勝　対ウルスラ英智●0－3
ダブルス
平賀翔太・小山田泰地
1回戦　対鶴岡工業○2－1
2回戦　対浪岡●0－2
【女子】
◆第74回岩手県高等学校総合体育大会バドミントン競技
学校対抗　第2位　東北大会出場
ダブルス
第1位　森柑奈・佐藤鈴緒
インターハイ出場
シングルス
第1位　佐藤鈴緒　インターハイ出場
ベスト8　柳原彩夏
◆第51回東北高等学校バドミントン選手権大会
学校対抗
1回戦　対秋田北●2－3
ダブルス
森柑奈・佐藤鈴緒
2回戦　対秋田中央○2－1
準々決勝　対青森山田●0－2
ベスト8
シングルス
佐藤鈴緒
2回戦　対ふたば未来学園●0－2
◆第67回岩手県種目別バドミントン選手権大会
少年の部女子ダブルス
ベスト8　佐藤鈴緒・森柑奈
ベスト8　久保田つぐみ・川村心
3回戦敗退　熊谷楓・黒田紗希
少年の部女子シングルス
優勝　佐藤鈴緒
ベスト8　森柑奈
2回戦敗退　村松愛花
◆第73回全国高等学校総合体育大会バドミントン競技
ダブルス
佐藤鈴緒・森柑奈
1回戦　対唐津南○2－1
2回戦　対倉敷中央●0－2
シングルス
佐藤鈴緒
1回戦　対諫早商業●0－2
◆第41回全日本ジュニアバドミントン選手権大会
ダブルス
森柑奈・佐藤鈴緒
1回戦　対城東高校○2－0
2回戦　対九州国際大付属●1－2
シングルス
佐藤鈴緒
2回戦　対四天王寺●0－2
◆第62回岩手県高等学校新人バドミントン大会
学校対抗　優勝
ダブルス
優勝　佐藤鈴緒・森柑奈
2位　村松愛花・黒田紗季
ベスト8　久保田つぐみ・川村心
ベスト16　菅原萌・熊谷楓
2回戦　高橋涼華・田中奈々
シングルス
1位　佐藤鈴緒
ベスト8　森柑奈　熊谷楓　村松愛花
ベスト16　久保田つぐみ　菅原萌
◆第51回全国高等学校選抜バドミントン大会東北地区予選会
学校対抗
2回戦　対弘前実業●2－3
ダブルス
森柑奈・佐藤鈴緒
2回戦　対秋田北○2－0
準決勝　対青森山田●0－2
シングルス
佐藤鈴緒
2回戦　対山形城北○2－1
準々決勝　対青森山田●0－2

ソフトテニス部

【男子】
◆令和4年度高総体地区予選ソフトテニス競技
個人結果
石川・黒田（9位）1組県大会出場
◆第32回岩手県ジュニア選抜ソフトテニス選手権大会兼ハイスクールジャパンカップソフトテニス2022岩手県予選
男子ダブルス　1回戦
新田・戸来　対宮古商工●2－4
石川・黒田　対岩手●3－4
高橋・熊谷　対関二●2－4
男子シングルス
石川　対久慈●0－4
黒田　対黒工●0－4
戸来　対前沢●0－4
◆令和4年度第74回岩手県高等学校総合体育大会　ソフトテニス競技
男子団体
1回戦　対不来方○2－1
2回戦　対岩手●0－3
男子個人戦　石川・黒田
1回戦　対岩手●2－4
◆令和4年新人戦地区予選ソフトテニス競技
個人結果　藤原・瀬川（13位）
1組県大会出場
◆第67回　岩手県高等学校新人大会　ソフトテニス競技
個人戦　藤原・瀬川
1回戦　対不来方○4－2
2回戦　対一関学院●0－4
団体戦
1回戦　対盛岡一●1－2
【女子】
◆令和4年度高総体地区予選ソフトテニス競技
個人結果　3組県大会出場
◆第32回岩手県ジュニア選抜ソフトテニス選手権大会兼ハイスクールジャパンカップソフトテニス2022岩手県予選
ダブルス
塚澤・佐々木
1回戦　対北上翔南○4－0
2回戦　対釜石○4－1
3回戦　対福岡●2－4
畠山・山影
2回戦　対盛岡三●1－4
シングルス
1回戦　畠山　対盛岡商●1－4
1回戦　塚澤　対盛岡二●1－4
◆令和4年度第74回岩手県高等学校総合体育大会　ソフトテニス競技
個人
1回戦
松葉・工藤　対盛岡北●2－4
2回戦
畠山・山影　対宮古商工●0－4
2回戦
塚澤・佐々木　対久慈●2－4
団体戦
1回戦　対沼宮内○3－0
2回戦　対大船渡●0－3
◆第51回県下高校新人ソフトテニス一関大会
予選リーグ
藤澤・三浦　リーグ戦敗退
松葉・工藤　予選リーグ通過
畠山・山影　予選リーグ通過
菅原・伊藤　予選リーグ敗退
照井・小田島　予選リーグ通過
決勝トーナメント　1回戦
松葉・工藤　対大船渡●1－4
照井・小田島　対花巻南●1－4
畠山・山影　対前沢○4－2
2回戦
畠山・山影　対大船渡●2－4
◆令和4年度岩手県高等学校新人大会ソフトテニス競技花巻地区予選
個人戦
畠山・山影　2位　●3－4遠野
松葉・工藤　5位　○4－2花巻北
藤澤・三浦　7位　○4－1遠野
以上県大会出場
団体戦　地区順位戦　予選リーグ
対花南○3－0
対遠野●1－2
得失数で予選リーグ通過
決勝戦
対花北○2－0　地区1位通過
◆第67回岩手県高等学校新人大会
個人戦　松葉・工藤
1回戦　対一関二○4－0
2回戦　対盛岡北○4－2
3回戦　対盛岡商○4－2
4回戦　対宮古商工○4－2
準々決勝　対高田●3－4　ベスト8
◆岩手県ソフトテニス連盟U17・20選手選考大会
畠山・山影
2回戦　対水沢商○4－1
3回戦　対大船渡●3－4　ベスト32
選抜インドア選手権大会出場
藤澤・三浦
1回戦　対宮古●1－4
団体戦
2回戦　対北上翔南・金ケ崎○2－1
3回戦　対久慈●0－2　ベスト16
選抜インドア選手権大会出場
◆東北ソフトテニスシングルス選手権大会
1回戦
松葉　対東北●0－4
工藤　対東北●1－4
◆第54回岩手県高等学校選抜インドアソフトテニス大会
個人戦
畠山・山形
1回戦　対高田●0－4
松葉・三浦
1回戦　対久慈東○4－0
2回戦　対大船渡●3－4　ベスト16
団体戦
対一関学院●0－3

サッカー部

【男子】
◆第74回岩手県高等学校総合体育大会
サッカー競技
1回戦　対盛岡三●0－1
◆高円宮杯JFA U－18 サッカーリーグ2022岩手 i.LEAGUE DIVISION Ⅲ C
第1節　対不来方2nd●1－10
第2節　対専大北上3rd●0－10
第3節　対遠野緑峰○22－0
第4節　対花巻南○4－3
第5節　対水沢工●1－3
第6節　対福岡・福岡工　0－0
第7節　対盛岡南●0－3
第8節　対遠野緑峰○6－0
第9節　対専北3rd●0－16
第10節　対福岡・福岡工●1－13
第11節　対盛岡南○4－2
第12節　対不来方2nd●0－8

第14節　対水沢工●1－5

◆第101回全国高等学校サッカー選手権岩手県大会
1回戦　対江南義塾●1－7
【女子】
◆第74回岩手県高等学校総合体育大会サッカー競技
1回戦　対専大北上●0－15　第4位
◆第31回全日本高等学校女子サッカー選手権大会　岩手県大会
1回戦　対専大北上●0－36
3位決定戦
対水沢　不戦勝　第3位
◆第57回岩手県高等学校新人サッカー大会
1回戦　対不来方●0－14
3位決定戦
対水沢●0－7　第4位
◆第28回岩手県女子サッカーリーグ
開幕節　対不来方イレブン○1－0
第2節　対盛岡ゼブラ●0－4
第3節　対水沢高校●2－3
第5節　対フォルタレオン●0－12
第6節　対フォルタレオン●0－16
第7節　対不来方イレブン○5－0　不戦勝
第8節　対盛岡ゼブラ●0－13
最終節　対水沢高校●1－3

吹奏楽部

◆第60回岩手県吹奏楽コンクール中央地区大会
高等学校小編成の部　銀賞
◆岩手県アンサンブルコンテスト花巻支部大会
管楽三重奏　銅賞

珠算部

◆令和4年度岩手県高等学校ビジネス計算競技大会
電卓競技（団体の部）第3位
珠算競技（団体の部）第2位
珠算競技（読上暗算）第2位
和野内奏詩
◆令和4年度岩手県高等学校新人ビジネス計算競技大会
珠算競技（団体の部）第2位
珠算競技（個人総合の部）第3位
田中心結　東北大会出場

文芸部

◆第29回岩手県高等学校かるた選手権大会
団体戦　対一関一1－4　第2位
個人戦　第6位　戸田彩水
第7位　菅原百花
第8位　川村真鈴
◆第29回東北・北海道高等学校小倉百人一首かるた選手権大会
団体戦　第7位　8チーム中
◆第46回全国高等学校総合文化祭とうきょう総文2022小倉百人一首かるた部門
団体戦
1回戦　対鳥取県○4－1
2回戦　対福島県●0－5
◆第45回岩手県高等学校総合文化祭　小倉百人一首かるた部門
個人戦
第4位　川村真鈴
第8位　牛崎美琴
◆第29回東北・北海道高等学校小倉百人一首かるた新人大会
団体戦　第6位　8チーム中
◆第28回岩手県高等学校新春大会
個人戦　第7位　濵田杏恩
◆令和4年度「岩手県高校生文芸コンクール」
〈詩部門〉最優秀賞　玉山日菜美
優秀賞　戸田彩水
入選　佐々木羽菜
八重樫春希
〈児童文学部門〉入選　濵田杏恩
〈戯曲部門〉入選　菅原百花
〈俳句部門〉入選　川村真鈴
◆第37回全国高等学校文芸コンクール
〈詩文門〉入選　戸田彩水

OA部

◆令和4年度岩手県高等学校ワープロ競技大会
団体の部　第2位
個人の部
第3位　多田叶夢
第5位　多田遥夢
◆令和4年度第69回全国高等学校ワープロ競技大会
多田叶夢　個人第46位
◆令和4年度岩手県高等学校新人ワープロ競技大会
団体の部　第1位
個人の部
第1位　松本涼花
第2位　岡崎愛月
第4位　藤瀬日陽莉

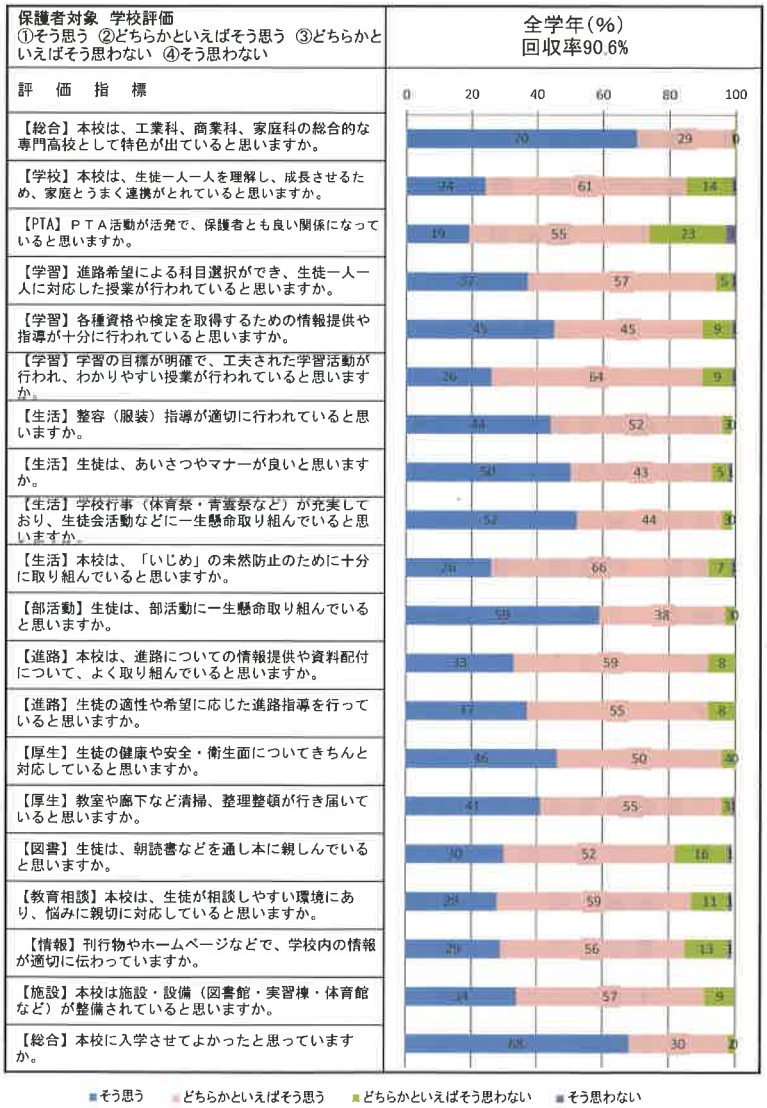
工学研究同好会

◆ジャパンマイコンカーラリー2023北東北地区大会
アドバンスクラス　優勝　大原空晃
◆ジャパンマイコンカーラリー2023全国大会
アドバンスクラス　完走賞　大原空晃

ビジネス情報科

◆令和4年度第34回全国高等学校情報処理競技会
佐々木羽菜　176位（231人中）
◆令和4年度岩手県商業高等学校英語スピーチコンテスト
レシテーションの部　第6位入賞
佐々木　実音

学校評価に係る保護者アンケート集計



学年長より

○1学年PTA報告

1学年長　宮原　淳

12月2日(金)1学年PTAを多目的教室を会場に開催いたしましたので報告させていただきます。

本来であれば開催に先立ち授業参観を実施したかったのですが、新型コロナ感染症が猛威をふるっており、やむなく総会とクラス懇談会のみの実施となりました。

PTA報告・説明においては1A17名(19)、1B18名(23)、1C17名(18)、1D17名(22)合計69名(82)(カッコ内は参加予定人数、コロナ等により当日不参加になった方が13名)で出席率47%(56%)のご参加を頂きました。コロナ状況にもかかわらず、お忙しい中ご参加いただき感謝申し上げます。

開会行事では学年委員長の宮野隆一様よりご挨拶を頂きました。

報告・説明では3つの項目についての報告・説明がありました。1つ目は学校概況報告、2つ目は来年度の科目選択を中心として教務部から、4つ目は現在の進路状況を中心に進路指導部からそれぞれ報告・説明が行われました。

1つ目の学校概況報告では学年の様子を中心に成績概要や日常生活の様子などの報告がありました。入学当初に比べ学校生活にも慣れ、朝読書から始まる1日を落ち着いて生活を送っているように見えます。

2つ目は教務部旦野先生よりコース選択・進路選択科目の説明がありました。選び方のポイント、学科ごとの設定科目の特性・注意点などを話していただきました。

3つ目は三浦進路指導部長より本年度3年生の進路状況の報告がありました。進路実現に向けて1学年から取り組むべきこと、「進路の手引き」の活用方法などを説明いただきました。

全体会最後に出張から戻られた佐々木伸良校長より挨拶を頂きました。

全体会閉会後にクラス懇談会をもち、貴重な意見や情報を頂きました。今後とも職員一丸となり指導してまいりますので今後ともご理解ご協力を頂きますようよろしくお願いいたします。

○2学年PTA報告

2学年長　戸塚　敏彦

第2学年PTAを11月2日(水)多目的教室を会場に開催しましたので報告させていただきます。ご多用中にもかかわらず、81名(参加率64%)の保護者に参加いただきました。昨年度の同様多くの参加をいただきました。感謝申し上げます。

さて、当日は、全体会に先立ち、「進路説明会」を実施し、続いて「全体会、現状報告」「修学旅行について」そして「学級懇談」という内容で進行しました。「進路説明会」では三浦進路部長から現在の進路状況について情報を提供していただきました。

「全体会、現状報告」では学年委員長の市川清志様にご挨拶をいただき、その後学校長からの挨拶をいただきました。学年役員、PTA活動行事等の報告後、学年全体概況ならびに考査概況についての報告、科目選択について説明がありました。昨年同様全体的に大きな乱れはなく、生徒は落ち着いて学校生活を送っていること、考査概況から進路実現に向けて家庭学習の取り組みをしていただくようお願いをさせていただきました。

「修学旅行について」では3泊4日の行程及び留意事項について、資料をもとに説明させていただきました。今回の修学旅行では、コロナウイルス感染症対策をとりながらの修学旅行となるため、可能な限りの対応ができるように、キャンセル費用保険、コロナウイルス感染症一時金特約付国内旅行保険に加入することを説明しました。

修学旅行は生徒全員が参加することはできませんでしたが、岩手県内でコロナウイルス感染症が拡大している中、多くの生徒が参加することができました。これもひとえに保護者様の普段からの生徒への体調管理のおかげだと思っています。

高校生活の中で大きなイベントの一つである修学旅行が終わりました。来年は進路に向けて勝負をする年になります。すでに多くの生徒が上級資格取得や基礎学力の向上、進路研究など自身の夢にむかって歩みだしています。我々2学年団もこの歩みを加速させるべく、進路ガイダンス、講演会等を実施し、最大限のサポートをして参ります。保護者の皆様には今後ともより一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、学年PTAの報告とさせていただきます。

○3学年PTA報告

3学年長　金子　俊二

3学年保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。ここ青雲台での3年間の学びでお子様も大きく成長しました。これまでの本校の教育に際してご協力をいただき感謝に堪えません。

さて、思い返すとこの3年は新型コロナウィルスの感染との闘い(共生)に明け暮れました。入学式・高総体・体育大会・青雲祭・進路関連と影響を受けた行事を思うと枚挙にいとまがありません。そして、昨年の『会報』で掲げた目標は修学旅行を全員で行こう!でした。

修学旅行は昨年12月、2年生が帰校したのと入れ替わりに3年生が出発、3泊4日の京都・奈良・大阪を巡る旅でした。案の定、コロナ感染で旅行に行けなくなった生徒も出ましたが、概ね目的は達成され、無事一行は帰校しました。おそらく後にも先にも本校での3年生での実施はこれが最後となるのではないかと思います。

学年PTAも修学旅行が予定されたことから、5月9月11月の3度の開催となり、多くの保護者の方にお集まりいただきました。各種行事の開催には感染症対策を講じ、準備を整えてのものでしたが、何事もこれで十分といったことがないと感じたこの3年でした。

この3月も、4月からの新しい新生活に向けた準備で慌ただしいことと思います。是非この学び舎で学んだことを生かし、お子様には次のステージでまた新しい景色を見られるよう我々一同見守っていきたいと思います。保護者の皆様の、これまで様々な場面でのご理解ご協力に感謝申し上げます。

令和4年度 PTA役員 ありがとうございました

PTA役員（敬称略）

会長
小菅 孝広

副会長
阿部 晃一
市川 清志
宮野 隆一
橋本 展子
平賀 勇樹
菅原 智子
及川 真喜
藤本 真帆
佐々木伸良（校長）

母親委員代表
山中 和美

監事
木村 清師
長谷川万智子
鎌田 千花

理事

◎3学年
委員長
阿部 晃一（広報）
副委員長
橋本 展子（母親）
理事
須川 龍子（広報）
佐々木佳奈子（校外生活指導）
村本美由貴（校外生活指導）
小菅 孝広（学習）
髙橋 君江（学習）
五内川紀子（環境整備）
木村 清師（環境整備）
白石たみ江（母親）
山中 和美（母親）
晴山みずほ（母親）

◎2学年
委員長
市川 清志（広報）
副委員長
平賀 勇樹（母親）
菅原 智子（母親）
理事
葛巻 欣子（校外生活指導）
河野 義良（校外生活指導）
安部 敬子（学習）
南 一行（学習）
久保田佐和子（環境整備）
森 静香（環境整備）
長谷川万智子（母親）
信太 正光（母親）

◎1学年
委員長
宮野 隆一（学習）
副委員長
及川 真喜（母親）
藤本 真帆（環境整備）
理事
阿部ゆかり（広報）
高橋和佳子（広報）
福山 剛（校外生活指導）
幅野 恵子（校外生活指導）
袖林 恵美（学習）
橘 夏美（環境整備）
鎌田 千花（母親）
黒田由美子（母親）
昆野美紀子（母親）

PTA事務局日誌

令和４年
４月８日(金)…入学式、ＰＴＡ入会式、ＰＴＡ必携発行、第１学年ＰＴＡ理事会
４月11日(月)…ＰＴＡ監査
４月20日(水)…第１回役員会、理事会
５月12日(木)…中部地区ＰＴＡ連絡協議会
５月13日(金)…ＰＴＡ総会、第１回３学年ＰＴＡ
５月18日(水)…ＰＴＡ専門委員会（母親、校外指導生活、広報、環境整備、学習）
６月３日(金)…県高Ｐ連定期総会並びに研究協議会
６月10日(金)…第２回役員会
７月１日(金)…第71回東北地区高等学校ＰＴＡ連合会盛岡大会
７月25日(月)…環境整備委員会石鳥谷駅周辺清掃
８月25日(木)～…第71回全国高等学校ＰＴＡ連合会大会石川大会
９月21日(水)…第２回３学年ＰＴＡ
９月22日(木)…県高等学校ＰＴＡ連合会母親会員交流会
９月29日(木)…第３回役員会
10月12日(水)…校内ロードレース大会
10月13日(木)…登校時一声マナーアップ運動
10月20日(木)…２学年役員会
10月21日(金)…県高等学校ＰＴＡ連合会会長研修会
11月２日(水)…２学年ＰＴＡ
11月11日(金)…県高等学校ＰＴＡ連合会事務局長研修会
11月18日(金)…第３回３学年ＰＴＡ
11月24日(木)…ＰＴＡ研修会
12月２日(金)…１学年ＰＴＡ
令和５年
１月27日(金)…花巻市青少年育成会議　朝のあいさつ運動（石鳥谷駅前）
２月22日(水)…第４回役員会
３月１日(水)…卒業式、ＰＴＡ会報発行
４月11日(火)…会計監査（予定）

１年間ありがとうございました

令和４年度　ＰＴＡ広報委員会
委員長　阿部 晃一
副委員長　市川 清志
須川 龍子
阿部 ゆかり
高橋 和佳子

今年度も新型コロナウイルス感染症によるパンデミックのため、ＰＴＡ行事・ＰＴＡの各種会議や学校行事も縮小となり、会報の原稿集めにも苦労いたしました。このような状況ではありますが、ＰＴＡ会員の皆様のご協力でなんとかＰＴＡ会報第106号を発行する運びとなりました。この場をお借りして感謝申し上げます。なお、今年度からＰＴＡ会報は年１回の発行となり、学校の様子は「学校ホームページ」で随時更新されておりますので、どうぞご覧ください。コロナ禍がいつ終息するかわからない状況ですが、今後もよりよい会報にしていきたいと思いますので、保護者の皆様からの御意見・ご要望を広報委員会までお寄せください。

TEL 0198-45-3731　FAX 0198-45-3746
〒028-3172　花巻市石鳥谷町北寺林11-1825-1
花北青雲高校　総務部 宛

印刷所　トーバン印刷㈱